

ごみ処理手数料（ごみ袋）値上げの今後の見通しについて

本市では、ごみ減量や資源分別のため、その促進に効果があるとされている取組の1つとして、「もえるごみ袋を増額する」という検討をしてきました。過去の経緯や現状、今後の見通しについて報告します。

1 経緯と現状

令和3年度 もえるごみ増額の方針周知、地域意見交換会

令和4年度 方針変更

① もえるごみ袋増額に関する提案を一旦見送り、長久手市
ごみ減量・収集アクションプランを策定

② 一般廃棄物処理基本計画にごみ減量目標や検証時期を
明記し、期間を定めてごみ減量状況を検証

令和5年度 一般廃棄物処理基本計画策定

① 全19の取組を進め、毎年度主要成果指標「1人1日あ
たりの家庭系もえるごみ排出量」減量状況を確認

② 減量目標から乖離が続く状況になった場合は、ごみの減
量状況や分別の動向を見ながら手数料料金等の見直しを
検討

2 今後の見通し

一般廃棄物処理基本計画の主要成果指標「1人1日あたりの家庭系もえる
ごみ排出量」を毎年度検証しています。

【実績値】令和5年度430g、令和6年度上半期440g



【出典】長久手市一般廃棄物処理基本計画概要版

一般廃棄物処理基本計画に基づくごみ減量資源化について

もえるごみを減量する方法として、大きく「資源分別」と「ごみそのものの発生抑制」があり、本市で毎年実施しているもえるごみ組成調査によると、資源が約30%も混入していることから、今後資源分別施策に注力して取り組んでいく必要があります。

1 一般廃棄物処理基本計画における資源化の方針について

計画の各施策は令和4年度に策定したごみ減量・収集アクションプランを軸としており、4つの基本施策の中の1つ、「資源化の促進」として5つの取組を進めています。

2 具体的な施策とその取組状況

基本施策2 資源化の促進

⑧分別回収品目の細分化

ごみから資源へ分別できる品目を増やしていくことで、ごみ自体を減量します。「充電5品目」の分別は令和4年4月から開始しています。

⑨資源回収拠点の増設

エコハウス等の資源回収拠点を増やしていくことで、資源分別意識を高め、資源回収の利便性を高めます。令和4年11月に出張ながくてエコハウス(西部)、令和5年1月に出張ながくてエコハウス(東部)を開設しました。今後は要望に対して増設を検討します。

⑩ペットボトルの水平リサイクル(令和5年度実施済)

令和5年4月から本市・瀬戸市・尾張旭市は、豊田通商㈱・サントリーグループとペットボトルからペットボトルに再生する水平リサイクル事業に協働で取り組んでいます。新たに石油由来原料からペットボトルを作るのに比べてCO₂を約60%削減でき、飲料のペットボトルとして再生先を「見える化」することで、リサイクル意識を高めます。

⑪プラスチック一括回収の検討

プラスチック製容器包装だけでなく、現在もえるごみに分類されるプラスチック製品も資源として一括して回収できるよう検討を進めます。

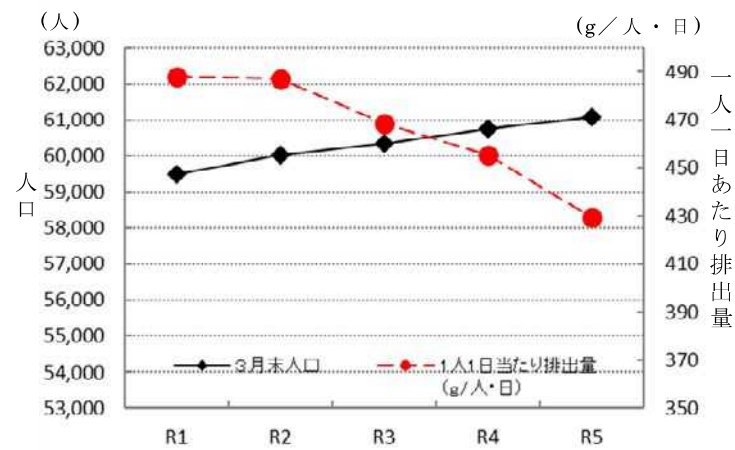
⑫剪定枝リサイクルの検討

現在もえるごみに分類される剪定枝を資源として回収できるよう検討を進めます。

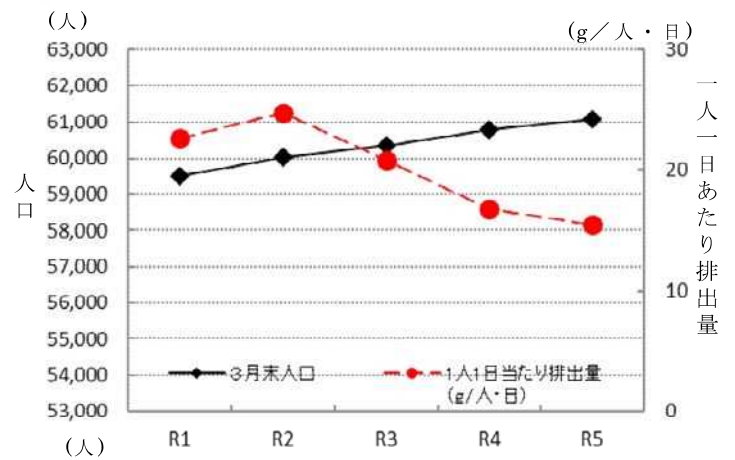
令和6年度環境事業概要抜粋

イ ゴミ及び資源の排出量推移(許可業者分【事業系】を除く)

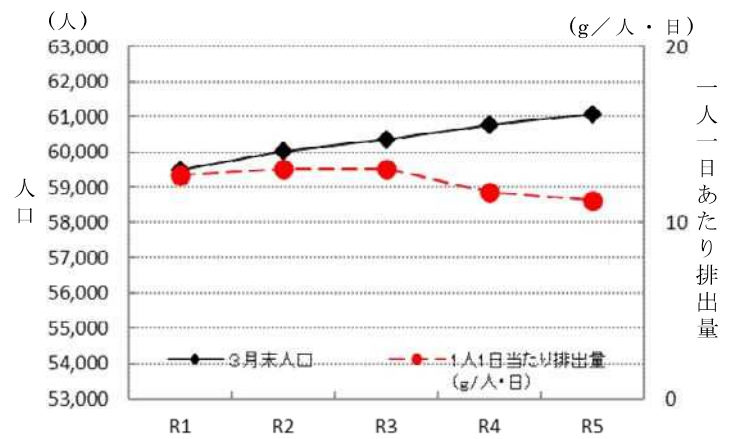
	もえるごみ (kg)	1人1日当たり排出量 (g/人・日)
令和元年度	10,630,310	488.2
令和2年度	10,677,700	487.3
令和3年度	10,318,600	468.4
令和4年度	10,098,950	455.3
令和5年度	9,604,400	429.6



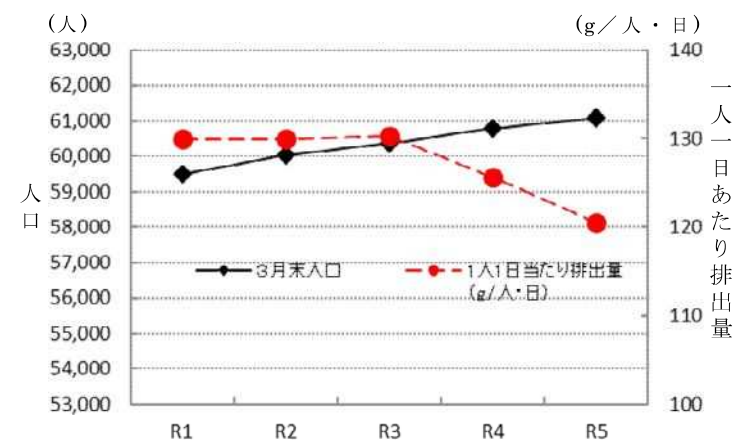
	もえないごみ (kg)	1人1日当たり排出量 (g/人・日)
令和元年度	492,310	22.6
令和2年度	541,340	24.7
令和3年度	459,190	20.8
令和4年度	373,300	16.8
令和5年度	346,840	15.5



	粗大ごみ (kg)	1人1日当たり排出量 (g/人・日)
令和元年度	276,680	12.7
令和2年度	286,230	13.1
令和3年度	286,720	13.0
令和4年度	259,680	11.7
令和5年度	252,120	11.3



	資源 (kg)	1人1日当たり排出量 (g/人・日)
令和元年度	2,828,298	129.9
令和2年度	2,847,638	130.0
令和3年度	2,870,445	130.3
令和4年度	2,786,720	125.6
令和5年度	2,695,069	120.6



【資料】環境課